

よいことの
ために
手を取りあおう

ガバナー補佐/西堀恒司 IM実行委員長/渡辺聡 IM副実行委員長/米山威久
会長/小林雅範 幹事/小池和人



*文中は敬称を略させていただきました。

受付



友愛の広場



オープニング・セレモニー

司会進行: 渡辺聡 IM 実行委員長

点鐘: 14:00 西堀恒司 ガバナー補佐

『君が代』『奉仕の理想』斉唱



ソングリーダー
犬飼康元
松本 RC 会員

講師・特別出演者紹介: 渡辺聡 IM 実行委員長



本日の講師・特別出席者の皆様をご紹介します。
講師・松本市危機管理課地域防災マネージャー宮坂政行様、特別出演者 2025-2026 年度 RI2600 地区ガバナー・松本南 RC: 小林磨史様、パストガバナー・松本 RC: 折井正明様、会員増強委員長他兼務・信州友愛 RC: 金児進様、ロータリーの友地区代表委員・松本南 RC: 茅野芽九六様、ガバナー補佐・松本 RC: 西堀恒司様、以上宜しくお願い致します。

歓迎の挨拶: 小林雅範 松本 RC 会長



本日は小雨降るお足元の悪い中、また秋の文化祭・運動会シーズンなどご多用の中、中信第一グループの会員セミナー、インターシティミーティングによるこそおいでくださいました。

私は本年度、松本ロータリークラブの会長を拝命しております、小林雅範と申します。高い所から誠に恐れ入りますが、クラブを代表して歓迎のご挨拶を申し上げます。

今年度、当クラブからは中信第一グループのガバナー補佐として、西堀恒司会員を輩出しております。これに付随する形で、渡辺実行委員長の旗振りのもとに会員セミナー、インターシティミーティングを開催する運びとなりました。例年ですと、年度後半、年をまたいでの開催が通例ではございますが、小林磨史ガバナーからの思いを西堀ガバナー補佐が

繋ぐ形でこのような開催時期となりましたこと、後ほど西堀ガバナー補佐からの趣旨説明におきまして詳細についてはご説明あることと存じます。

また、当クラブは今年度創立 70 周年を迎えます。今月のロータリーテーマは「地域社会の経済発展月間」でもあります。短い期間にいくつかのロータリーのイベント・会合が集中することなく、地域内の会場にも配慮しつつ、シンプルな設営の中でありながらもバランスを取り、良い経済循環となるような形を取らせて頂きましたこと、お含み置きくださいますよう、お願い申し上げます。

懇親会では、近くに迫る地区大会の PR はもちろんのこと、地区役員での交流、ロータリーの枠にとどまらない同業、異業種での交流で日頃お会いになられていらっしゃる方もそうでない方も、クラブの垣根を越えて楽しく交流を深めて頂けたら幸いに存じます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

ガバナー挨拶：小林磨史 ガバナー



ガバナー挨拶については
4 ページ「講評」をご参照
ください。

ガバナー補佐挨拶：西堀恒司 ガバナー補佐



本日の中信第一グループの IM にご参集いただきありがとうございます。例年ですと、当グループの IM は翌年の春ごろに行われていましたが、本年度は 11 月の地区大会の前にいたしました。その理由の一つは、本年度の地区大会は、地区の運営方針の「防災」にちなんだ大会になりますので、ガバナーとガバナー補佐の各クラブへの訪問をホップ、この IM をステップとして気運を盛り上げ、最後のジャンプは地区大会とし、その勢いで後期に臨みたいとしたためです。

私のガバナー補佐としてのクラブ事前訪問は先日終

りましたが、訪問の際にはあたたかく迎えていただき厚く御礼申し上げます。その中で各クラブの共通の課題として会員の増強と、ロータリー活動への理解をさらに深めていただくことを感じました。本日の会員セミナーは、そのきっかけの一つになればと思っています。

本日は、長時間となりますが、IM を通して研修・研鑽ともに、近隣クラブとの友好を深めていただきたいと思います。本日はよろしくお願いいたします。

第一部 会員セミナー

金児進 地区会員増強 RLI 委員長

演題「効果的な会員増強について」

～衛星クラブから見えるクラブ活性化～



茅野芽九六 ロータリーの友地区代表委員

演題「ロータリーの友の活用」



第二部 IM (INTER CITY MEETING)

司会進行：米山威久 IM 副実行委員長

IM 趣旨説明・講師紹介：西堀恒司ガバナー補佐

宮坂政行 松本市危機管理課マネージャー

演題「高めよ 防災力」



宮坂政行氏、金子進氏、茅野芽九六氏の講演録と資料を、地区の電子 Book ソフト「AirLibro」で電子 Book 化してあります。

以下の URL から閲覧ください。

https://rid2600.airlibro.jp/book/view_html5.php?id=1254

パスワード 2600

クロージングセレモニー

次期ホストクラブ次期ガバナー補佐発表：西堀恒司 ガバナー補佐

次年度、橋上信久ガバナー年度における、中信第一グループの IM のホストクラブは大町 RC、同じく第一グループのガバナー補佐は大町 RC の竹内直彦さんをご指名致します。宜しくお願いいたします。



北村友一
次期ホストクラブ大町 RC
会長



竹内直彦
次期ガバナー補佐

講評 小林磨史 ガバナー



この度は、中信第一グループ IM が大勢の会員の参加のもと、盛大に開催されましたこと、心よりお祝い申し上げます。
主催いただいた西堀恒司ガバナー補佐、並びにホス

トとして支えていただいた松本ロータリークラブの皆様にも重ねて御礼申し上げます。

第一部の会員セミナーにおいては、地区会員増強委員長の金児進会員より、効果的な会員増強についてお話いただきました。会員の現状維持は衰退であり変化の必要性を説き、会員のモチベーションアップには「出会いのための冒険」オープン例会や衛星クラブの設立が有効で、クラブにワクワク感を与えることを勧められました。一方、ロータリーの友地区代表委員の茅野芽九六会員からは、ロータリーの友の活用法について、縦組みと横組み記事がある理由や、記事内容の 50%以上が RI 関連記事で、年 6 回以上の発行が義務付けられていることが説明され、ロータリーの友に掲載された中信第一グループ関連の懐かしい記事についても説明がありました。

第二部では、私が地区テーマにしている「防災・減災」について、松本市危機管理マネージャーの宮沢政行氏より「高めよ防災力」の題で講話があり、実際の災害現場を経験して、日頃の災害への備えや、身の回りの危険を察知する感性を磨くよう指導がありました。第三部の親睦懇親会は、グレイスの懐かしい歌声を聴きながら大いに盛り上がり、グループ内の交流が図られました。

最後に 11 月の地区大会、各クラブの周年の案内があり、正に「よいことのために手を取りあった」素晴らしいプログラムでありました。皆様、お疲れ様でございました。

閉会の言葉



松沢宏
松本 RC 直前会長

点鐘：16：50



西堀恒司 ガバナー補佐

第三部 親睦懇親会

司会進行：小池和人 松本 RC 幹事



長時間のセミナー大変お疲れ様でございました。開宴に先立ちまして茨木智地区大会実行委員会委員長及び関守昌地区大会実行委員会副委員長より地区大会のご案内がございます。

また当年度、中信第一グループではあづみ野 RC が 40 周年を、松本 RC が 70 周年を迎えます。それぞれ周年実行委員長よりご案内がございますので宜しくお願い致します。

地区大会案内：茨木智 地区大会実行委員会委員長
関守昌 地区大会実行委員会副委員長



クラブ周年案内



場々洋介
あづみ野 RC
40 周年実行委員会委員長



濱幾郎
松本 RC
70 周年実行委員会委員長



乾杯：折井正明 パスト
ガバナー



アトラクション：グレイス (GRACE)

中村雅彦(ギター・ボーカル)、IKU(ボーカル)、下川久美香(キーボード) の皆様

曲目：「地上の星」「時代」「瑠璃色の地球」「恋の季節」「白い大地から」「人生の扉」「時には昔の話を」

「手に手つないで」



ソングリーダー
犬飼康元松本 RC 会員

謝辞：西堀恒司 ガバナー補佐

本日は、防災に対しての意識を高揚と、今後のロータリー活動へのヒントが得られ、実のある IM だったと感じています。

また、小林ガバナー始め、多くのご来賓を迎え、楽しいグレイスさんのアトラクションなど有意義な IM となった事に、改めて感謝いたします。本日は有難うございました。

懇親会





編集後記：IM 実行委員長 渡辺聡

松本 RC は本年創立 70 周年を迎えます。今回の IM については、「70 周年」との関係で開催日程をどうするかがまず問題になりました。

西堀ガバナー補佐より、本年度の開催テーマを小林ガバナーの地区テーマ「防災」をテーマとし、3 段飛びに例えれば地区大会へ向けてのステップになるような IM にするというご方針が示され、異例ながら地区大会前に開催し中信第一グループ内の「防災意識」を高め、クラブ活性化につなげるという性格付けがなされました。

西堀 AG のリーダーシップと講師の皆様のご尽力により、実務的な IM として運営することができました。

IM の裏テーマとしては、複数の実行委員会にスタッフが必要になるため、できるだけ省力化して開催することを考えました。

会場の H モンターニュスタッフの皆さん、松本 RC の会員の皆様のご尽力により、大過なく運営ができたと考えています。会員減少の現実の中で、大きな大会の運営は難しいというお声も聴きますが、地域のロータリアン同士が会員レベルで交流できる、IM・会員セミナーはやはり貴重な機会であることを実感いたしました。

開催にご尽力いただいた関係者のみなさん、ご参加いただいたロータリアンの皆様にこの場を借りて御礼申し上げ、編集後記といたします。